

## 会 議 録

会 議 名	令和7年度第2回山陽小野田市子ども・子育て協議会
開 催 日 時	令和8年1月14日（水） 18時30分～19時45分
開 催 場 所	山陽小野田市役所3階 第2委員会室
出 席 者 （敬称略）	伊藤一統、植木朋子、田村真理奈、高木直也、加藤善成、棟久光江、柴田好江、吉岡智代、藤本満士、沖村靖宏、西本杏美、山縣智恵美、草田和枝、茶屋由子、山岡好弘（15名）
欠 席 者 （敬称略）	岡村誠、佐古幸恵、綱井健哲（3名）
事務担当課 及び職員	福祉部長 尾山貴子 子育て支援課 石田恵子（福祉部次長兼課長）、野原崇史（課長補佐）、 山本真由実（主査）、神田陽子（保育係長）、 藤田浩子（子育て支援係長）、辻岡敏司、津森名奈子
会 議 次 第	1. 開会 2. 議事1 保育所・幼稚園の定員変更等について 議事2 乳児等通園支援事業の認可について 議事3 こども計画について 3. その他
配 布 資 料	・保育所・幼稚園の定員変更等について ・乳児等通園支援事業の認可について ・山陽小野田市こども計画（案） ・山陽小野田市子ども・子育て協議会名簿
傍 聴 者	1名
概 要	1. 開会 ・新任委員挨拶 ・協議会の公開について決定 ・傍聴者の報告 ・協議会成立要件の確認 18名の委員のうち15名の委員が出席しており協議会は成立 2. 議事1 保育所・幼稚園の定員変更等について 資料に沿って事務局から説明 1 幼稚園型認定こども園の設置について 2 特定教育・保育施設の確認について 3 利用定員の増加・減少について 4 市内在住の保育所等入所児童の状況

## 5 待機児童の状況

### 【主な質疑】

(委員) 真珠幼稚園について、令和7年4月1日の入所児童数は66名で令和8年度から利用定員が60名となるが、これでよいのか。

(事務局) 入園児よりも卒園児が多いため、令和8年度は利用定員を60名としても問題ない。

1～3のいずれも申出についても承認。

### 議事2 乳児等通園支援事業の認可について

資料に沿って事務局から説明

### 【主な質疑】

(委員) 利用人数や認知度はどう考えているか。

(事務局) 10月14名25時間、11月7名14時間、12月8名16時間（延べ）であった。11月や12月は固定化の傾向があった。令和7年度は試行的実施で、令和8年度から本格的に実施される予定であるが、詳細については国から通知がなされていない状況である。利用時間の上限の月10時間について、令和8年度も変更はない見込み。

申出のあった3事業者について承認。

### 議事3 こども計画について

資料に沿って事務局から説明

### 【主な質疑等】

(委員) こども計画では、「こどもの意見を聞く」となっているが、教育部門との兼ね合いはどうか。

(事務局) 貧困対策もあるので、担当部局と調整が必要と考えている。

(委員) 各部局との調整の進捗もお知らせいただきたい。

(事務局) 承知した。

(委員) 「日常的に意見を言い合える機会」とあるが、「日常的」という言葉はふさわしいか。そういった機会はありますか。

(事務局) このような計画は、大人だけが作成するものがほとんどであったと思う。今回のこども計画は、子どもや若者の意見を聴取し、反映することが目的の一つと考えているが、なかなか意見を聴取することが難しいことも承知している。「日常的」という言い回

	<p>しについては、わかりやすい表現となるよう考えていく。</p> <p>こども計画について、各自読み通してもらい、気づき等あれば子育て支援課に連絡いただくことで了承を得た。</p> <p>3. その他</p> <p>特になし</p>
--	---